

社会福祉法人やまびこの会

令和4年度事業報告

はじめに

令和4年度は厨房職員、保育職員に退職者を多く出してしまった1年となってしまいました。評議員や監事に協力して頂き、全職員に対してヒアリング等を行いました。運営と職員との溝を埋めることは出来ませんでした。このことについて、父母会役員との話し合いや保護者説明会を実施し、今後の保育について報告を行いました。

また、職員の採用のため、人材紹介会社への紹介料が多くかかってしまったため、厨房のスチームコンベクションオープンや食器洗浄機の入れ替えなど、施設整備に費用を充てることができませんでした。

新型コロナウイルス感染症対策としては、保護者の入室制限を引き続き実施、検温の徹底など行ってきました。園児、保護者、職員に感染者は出たものの、園内での感染拡大にはつながりませんでした。

令和4年度までの府中市内の新園開設や子どもの減少、親の働き方が変わってきたことなどにより、府中市だけではなく、東京都全体で定員割れが問題となってきています。やまびこでも令和4年4月当初、0歳児クラスで3名の欠員がありました。9月には6名の定員がうまったものの、今後も社会全体での定員割れの状況は続いていくものと思います。定員未充足を防いでいくためにも、地域へのアピールの方法など、引き続き検討を行っていきます。

令和4年度の課題に対して

新型コロナウイルス感染症対策として、保護者の入室制限、検温の徹底などを行って来ました。行政の対応の変更により、今後新型コロナウイルス感染症のための臨時休園は起こらないものと思われます。今後は新型コロナウイルス感染症対策の緩和について、慎重に検討を行っていきます。

中長期委員会の開催について、実施できるように検討を行って来ました。令和4年度の実施を実現することができませんでした。やまびこの抱える課題について、職員や役員と話し合うことができる場を設けられるよう、検討を行っていきます。

令和4年度は人材紹介料に多く経費がかかってしまいました。このため厨房機器等の施設整備に費用を充てることができませんでした。今後は施設の老朽化が課題となってきますので、施設整備に費用が充てられるよう、運営費について検討を行っていきます。

法人の理念

児童福祉施設として、無認可時代からの保育の経験と人々とのつながりを生かし、入所の園児だけでなく、地域の家庭への子育て支援を行います。保護者や地域の住民のさまざまな要求や必要性を把握し、それに応えられる施設となることを目標にします。また、他の団体とも協力しながら、地域の福祉についても、社会福祉法人としてできることを探りつつ、地域に貢献していきます。

評議員

| 名前 | 住所 | 職業 | 任期 |
|------|---------|------------------|----------------------|
| 常田秀子 | 国立市富士見台 | 大学教授 | 令和2年1月18日～ 令和6年6月 |
| 菊池美智 | 府中市幸町 | 元府中市公立保育 所保育士 | 令和2年1月18日～ 令和6年6月 |
| 高橋尚人 | 府中市白糸台 | 大学職員 | 令和2年1月18日～ 令和6年6月 |
| 城戸典子 | 府中市紅葉丘 | 児童文学者 | 令和2年1月18日～ 令和6年6月 |
| 三田恵美 | 府中市白糸台 | 支援学校教諭 | 令和2年1月18日～ 令和6年6月 |
| 甲田直巳 | 府中市美好町 | 建築事務所代表 | 令和2年1月18日～ 令和6年6月 |
| 坂根智春 | 府中市白糸台 | 卒園児保護者 | 令和2年1月18日～ 令和6年6月 |

評議員選任・解任委員

| 氏名 | 住所 | 職歴 | 任期 |
|-------|--------|----------|----------------------|
| 長田真紀子 | 府中市朝日町 | やまびこの会監事 | 令和3年8月16日～ 令和7年6月 |
| 星直子 | 狛江市岩戸南 | やまびこ元職員 | 令和3年8月16日～ 令和7年6月 |
| 萩原敦美 | 府中市押立町 | やまびこ職員 | 令和3年8月16日～ 令和7年6月 |

法人の役員

| 役職 | 名前 | 住所 | 職業 | 任期 | |
|-----|-------|---------|-------------|---------------------|--------------------------------|
| | | | | 初回 | 今回 |
| 理事長 | 古泉明彦 | 府中市多磨町 | やまびこ 職員 | 平成 29 年 6 月 | 令和 3 年 8 月 15 日～ 令和 5 年 6 月 |
| 理事 | 勝又真弓 | 府中市白糸台 | やまびこ 職員 | 平成 29 年 6 月 | 令和 3 年 8 月 15 日～ 令和 5 年 6 月 |
| 理事 | 麥倉豊 | 府中市多磨町 | 自治会役 員 | 令和 1 年 6 月 | 令和 3 年 8 月 15 日～ 令和 5 年 6 月 |
| 理事 | 古泉久美子 | 府中市多磨町 | やまびこ 職員 | 平成 20 年 10 月 1 日 | 令和 3 年 8 月 15 日～ 令和 5 年 6 月 |
| 理事 | 名古屋友佳 | 府中市紅葉丘 | やまびこ 職員 | 平成 29 年 6 月 | 令和 3 年 8 月 15 日～ 令和 5 年 6 月 |
| 理事 | 山口高男 | 府中市白糸台 | 設計事務 所代表 | 令和 3 年 8 月 15 日 | 令和 3 年 8 月 15 日～ 令和 5 年 6 月 |
| 監事 | 井上礎幸 | 東村山市萩山町 | 税理士 | 平成 20 年 10 月 1 日 | 令和 3 年 8 月 15 日～ 令和 5 年 6 月 |
| 監事 | 長田真紀子 | 府中市朝日町 | 看護師 | 平成 20 年 10 月 1 日 | 令和 3 年 8 月 15 日～ 令和 5 年 6 月 |

第三者委員

| 氏名 | 住所 | 任期 |
|------|--------|---------------------------|
| 田川幸子 | 小金井市中町 | 令和 4 年 4 月～ 令和 6 年 3 月 |

※令和 4 年 4 月 1 日時点

定時評議員会

| 開催月 | 審議内容 |
|-----|---------------------|
| 7月 | 令和3年度事業報告 令和3年度決算報告 |

理事会

| 開催月 | 議事内容 |
|-----|---|
| 6月 | 令和3年度事業報告 令和3年度決算報告 給与規程の改訂 評議員会の開催日時及び議題とその概要 |
| 9月 | パートタイム職員時給の改訂 給与規程改訂 |
| 12月 | 令和4年度次補正予算案 |
| 3月 | 令和4年度2次補正予算案 令和5年度事業計画 令和5年度当初予算案 |

事業内容

- 認可保育所の運営

借入金返済について

やまびこ保育園開設にあたり、施設整備のために、福祉医療機構から5,000万円、府中市から2,000万円の借入れを行いました。20年返済計画で、毎年、福祉医療機構、府中市への返済を行っています。令和4年度の返済金は3,843,078円（医療機構2,961,380円、府中市881,698円）で、令和4年度末の残金は、20,741,796円（医療機構15,780,000円、府中市4,961,796円）です。

やまびこ保育園

令和4年度事業報告

保育理念

かけがえのない一人ひとりの子どもたちに、全職員の深い愛情をもって保育にあたります。子どもたちにそそがれた愛情は、子ども自身が「自分をたいせつだ」と思える心を、そしてその先に「ひとを大切に思える」心を育みます。子どもたちの心に生きることの喜びを育てます。

保育目標

- 自分で考え、判断し行動できる子
- 感性の豊かな子
- 一人ひとりを尊び、仲間と協力し平和と民主主義を求められる子
- 働くことの喜びや尊さ、大切さがわかる子

保育方針

- 太陽、土、水など自然に十分触れながら、自然界への感動を通し、心も身体ものびのびと育つようにする。
- 異年齢の子どもたちや、障がいをもつ子どもが触れ合い、交流することを大切にしながら、豊かな人間関係が育つようにする。
- 園全体の保育士、その他の職員が、子どもへの共通理解の上にたった連携を心がけ、園全体の子どもその時々々の状況に対応できるようにする。

事業内容

- 延長保育
- 障がい児保育
- 一時預かり保育（定期利用保育、一般保育）
- 保育相談
- 地域子育て支援
 - ・子育てひろば・子育て講座（親子クッキング、和太鼓ワーク、AED講習、観劇）

1 施設運営

(1) 児童の処遇

ア クラス編成

| クラス名 | 年齢 | 保育者数 | 園児数定員 | 備考 |
|------|----|---------|-------|----|
| ひよこ | 0歳 | 3名 | 6 | |
| あひる | 1歳 | 2名 | 10 | |
| うずら | 2歳 | 2名 | 10 | |
| すずめ | 3歳 | 1名 | 10 | |
| ひばり | 4歳 | 1名+1名 | 12 | |
| つばめ | 5歳 | 1名 | 12 | |
| 合計 | | 11名+フリー | 60 | |

イ 月別保育予定日数

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 合計 292日 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------------|
| 25日 | 23日 | 26日 | 26日 | 25日 | 24日 | |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 25日 | 24日 | 24日 | 23日 | 22日 | 26日 | |

ウ 健康管理

子ども一人ひとりの発育発達の個人差（個性）を考慮しながら、健康な生活習慣を身に付け、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みました。

- [1] 日常養護・健康管理
- [2] 病気の予防と早期発見
- [3] 安全と事故防止
- [4] 健康増進と保健指導
- [5] 環境衛生

年間保健行事

| 保健行事 | 対象年齢 |
|------|---|
| 内科健診 | 0歳児組（月1回）、1歳児組以上（年2回5月 11月） 身体測定（毎月1回） |
| 歯科健診 | 全園児（年2回6月 1月） |

エ 保育指針

情緒の安定と発達をはかり、豊かな情操を養い、良く考え判断し、創造性豊かな、心身共に健康な子どもを育てる。

オ 主な行事

うんどう会は、4歳児、5歳児のみを府中第四小学校の体育館にてクラス別に行った。

おたのしみ会は、クラスごとに行い、今年度は保護者の参加はつばめ、ひばりのみとしたが、ひばりはインフルエンザのため、こどものみとなった。その様子はDVDにして全世帯に配付した。

卒園式は5歳児と保護者2名のみの参加として行った。

年長、ひばりの遠足は今年度も公共交通機関を利用せず、歩いての遠足とした。

カ 食事

[1] 目標『しっかり食べる子』に育てる。

配慮事項・薄味、和風献立に心がけた。

- ・旬の素材を使った献立作りを心がけた。
- ・見た目においしく、食べておいしい食事づくりを心がけた。
- ・レシピの配布や、お迎え時に話すなど保護者との連携を密に心掛けた。

「食べることは生きること」の冊子を作成し、新入家庭に配付した。

離乳食から幼児食、食育として取り組んでいること、食事の考え方や、家庭でのヒントになるような1冊として作成したものを配付した。

[2] 栄養管理

毎日の献立の栄養計算、保健所への月報の提出（年2回）を行った。また、やまびこ保育園の献立をホームページなどで、紹介した。アレルギーや宗教上など個別の対応を行った。

[3] 食育

毎月一予定献立表の配付（幼児食・アレルギー幼児食・離乳食・延長補食）をした。

掲示板一食に関わる情報を提供した。

給食日より「ごはんちょうだい」一やまびこ保育園の食事の紹介や栄養情報などをまとめ、毎月の献立表と一緒に配付した。

食を考える一栄養士はできるだけ、保育室へ出向き、子どもたちの喫食状況を把握し、保育者へアドバイスするようにした。0歳児は子どもの食事の状況、離乳食の移行時期、献立について、担当と栄養士が話し合った。また、月1回の給食会議にて、献立についての感想や反省、改善などや提供された食事への感想・反省、改善案などを出し合い、よりおいしい食事作りへ取り組んできた。また、食育を含め食全般についての勉強、話し合いの場としてきた。

展示食一玄関に、その日の給食の見本を展示した。

[4] 衛生管理

○衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目にそって確認した。

○調理従事者の細菌検査（毎月1回） 調理室・乳児調乳室の掃除、ワゴン清掃（毎日）、冷蔵庫消毒、食器は洗浄後殺菌庫にて保管、原材料・調理済み食品の保存（2週間）した。

[5] 栄養給与目標（給食・おやつでとりたい栄養量の目安）

| | エネルギー Kcal | 蛋白質 g | 脂肪 g | カルシウム mg | 鉄分 mg | ビタミンA μg | B1 mg | B2 mg | C mg |
|-------|---------------|----------|---------|-------------|----------|-------------|----------|----------|---------|
| 3歳未満児 | 500 | 20 | 15 | 212 | 2.6 | 125 | 0.25 | 0.28 | 20 |
| 3歳以上児 | 596 | 23.9 | 17.9 | 248 | 2.3 | 135 | 0.31 | 0.36 | 20 |

[6] 離乳食に関して

個人差を考え、無理のない離乳を進めた。

<離乳食の進め方>

- ①食べ易い形態で・・・子どもの状態にふさわしい形態で与えた。手づかみ食べを十分に
し、噛める子どもに育てることを大事にしてきた。
- ②栄養と食品のバランスを考えて・・・ある程度進んだら離乳食の中に穀類・タンパク質
類・野菜の三種類を合わせるように工夫した。
アレルギーをおこしやすい卵・牛乳については、使用しない献立にした。その分を他の
食材で補えるように工夫した。
- ③薄味で・・・調味料をできるだけ使わず、素材の味を生かして調理することを大事にし
た。

[7] アレルギー・特別食に関して

アレルギー児の「食物除去」も、それぞれの子どもの症状により対応し、必要により
除去解除できるように考えた。なお、アレルギー児の対処に関しては、保護者からの申
請書と医師の指示書によって行った。また、今年度も宗教上により配慮を保護者からの
申請を受け、実施した。

ク 安全管理

交通安全教育（5月）

非常災害時の避難訓練 毎月1回 引き渡し訓練の実施（9月第2金曜日）

不審者対応訓練（3月）

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

| | |
|---------|---------------------|
| 園長 | 1名 |
| 主任 | 2名 |
| 事務長 | 1名（マイナンバー取り扱い事務責任者） |
| 副主任 | 2名 |
| 保育者 | 20名 |
| 調理員 | 5名（栄養士含む） |
| 看護師 | 1名 |
| 事務員 | 1名（マイナンバー取り扱い事務担当者） |
| 用務員 | 3名 |
| 嘱託医 | 2名（非常勤） |
| 非常勤、パート | 若干名 |

- イ 健康管理
 - 健康診断 年1回（10月頃）非正規常勤職員も園負担で行った
 - 細菌検査 年12回（毎月実施）
- ウ 職員会議
 - ・職員会議 年間 12回
 - ・主任会議 隔週及び必要に応じて随時（理事長、園長、主任、副主任）
 - ・リーダー会議
 - ・給食会議毎月1回
 - ・行事打合せ会議 随時
- エ 研修・今年度も園外にての研修は少なかった。また、毎月の職員会議での園内研修は充実してきた。その園内研修をパートさんも日中に受けられるように設定したが、参加は少なかった。
 - ・キャリアアップ研修
 - ・園内研修全職員（応急救護、人権及び虐待、保育内容、食育、保健など）
 - ・園外研修
 - ・リーダー研修
 - ・東社協主催研修
 - ・障がい児保育研修
 - ・府中市私立保育園園長会研修
- オ 退職・福利厚生
 - ・福祉医療機構退職共済制度加入
 - ・わーくびあ府中へ加入
 - ・今年度は職員の退職が多かった。評議員、監事、第三者委員などによる全職員へのヒアリングや、府中市保育課とも相談しながら進めてきた。

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

会計責任者・・・古泉久美子

出納担当者・・・間宮咲子

イ 児童処遇事務

衛生推進者・・・菊池雪子（健康管理）

(2) 設備関係

○ 施設改修及び設備の改善

ア 設備の安全点検

主任会や職員会議において園舎内の環境を点検し、改善した。

イ 設備点検

必要な設備については、業者へ点検を依頼した。

- ・排水管は年2回の清掃を行った。

(3) 備品関係

- ア 備品購入・・・避難用のだっこひもを購入した。
- イ 保育用品購入
- ウ 給食用品購入
- エ 固定資産物品購入・・・パソコンを購入した。

(4) 災害対策

- ア 避難訓練
 - ・自衛消防計画に基づき、毎月1回行った。
 - ・引き取り訓練 9月2日(金)
- イ 防災設備及び設備の点検委託
 - 年2回(内、届け出1回)鹿島防災設備会社に委託
 - 年1回・・・住崎設計事務所に委託
- ウ 非常食糧の備蓄
 - (全児童数+全職員数)×3食×(3日)分を備蓄する。
- エ 不審者対応訓練・・・年1回(10月21日)実施した。

3 保護者にむけて

(1) 保育への理解と協力の促進

ア 保育参加

保育参加の前2週間の健康観察を行ってもらい、各フロア1名の参加とした。33名の参加があった。

イ 個人面談

必要に応じて、zoomにて行った。

ウ 保護者会

年2回行った。欠席の保護者とは、個人面談をzoomにて行った。

エ 公開保育

年1回予定していたが、新型コロナウイルス感染が終息せず、開催できなかった。

オ お知らせ

- ・園だより毎月1日に発行
- ・クラスだより毎月1日に発行
- ・保健だより毎月1日に発行
- ・献立表(離乳食・幼児・アレルギー)毎月1日に発行
- ・延長献立表毎月1日に発行
- ・ホームページに、保育の様子・地域支援活動・給食レシピ等を掲載
- ・行事や特別なお知らせなどは必要に応じて随時発行した。

(2) 苦情・意見・要望について

- ・うらら多磨の入居者の方から、「大人の太鼓練習の音がうるさい」との意見がよせられた。太鼓の取り組みを行っている意義と、次年度からは19時半には終えるよ

うに変更し、ご協力をお願いをし、了解していただいた。

(3) その他

今年度は、職員の退職が多く、その経緯と今後の対策、次年度へむけての方針などの全体説明会を行い、その後父母会役員会との協議をふまえてお手紙を出し、協力依頼をした。

ア 第三者委員会

退職者が多く出たことで、問題と今後の課題を評議員、監事の方とでヒヤリングを行った。

今年度は1名の委員だったが、次年度は2名になる。

4 地域社会との連携

新型コロナウイルス感染予防の対策を取り、方法や場所などを検討し、できるだけ開催できるように工夫して開催した。

ア 地域支援・・・新型コロナウイルス感染拡大防止のために、活動ができなかったことが多い。

- ・子育てひろば・・・今年度も参加者の人数を制限しながら開催した。
- ・子育て講座は開催できなかった。
- ・赤ちゃんふらっと・・・地域の母子がいつでも利用できるよう受け入れていく。
今年度は、後半に利用者がいた。
- ・職場体験・ボランティアの受け入れ・・・卒園児の中学生のボランティアの参加があった。
- ・実習生の受け入れ・・・積極的に受け入れた。
- ・施設の活用及び開放・・・できなかった。
- ・世代間交流・・・できなかった。
- ・広報誌の発行を継続し、地域への宣伝を強化していく。(11月発行)

イ 小学校との連携・・・できなかった。

ウ 高齢者との交流・・・積極的にはできなかったが、隣の「うらら多磨」の方たちとは、日常のご挨拶をしている。